

第4回県記録会 競技注意事項

- 1 2024年度日本陸上競技連盟競技規則と大会要項によって運営する。
- 2 2024年度ルールを適応し、不正出発をした選手は失格となる。
- 3 トラック競技は、全てタイムレースとする。
- 4 フィールド競技（走幅跳・砲丸投）の試技は3回とする。
- 5 走高跳・棒高跳の計測は、次の通りとする。なお、天候・選手の状態によって変更する場合がある。
走高跳 男子 1m20-25-30-35-40-45-50-55-60-65（以降3cmずつアップ）
女子 1m10-15-20-25-30-35-40-43（以降3cmずつアップ）
棒高跳 1m80 から 10cmずつアップ
- 6 男女800mのスタート方法は、1レーン2人制として第2コーナー出口までセパレートとする。レーン番号内側から外側その後外側から内側に位置する。
- 7 競技場は全天候型なので競技に使用するスパイクのピンは、全天候型のものとし、9mm以下のものを使用すること。（走高跳は12mm以下）
- 8 競技用シューズの扱いについて
全競技者は、シューズの厚さを厳守すること。(20mm 以内)参加前に各チームで確認すること。
- 9 選手は胸・背部に必ず団体名アスリートビブスをつけること。（走高跳・棒高跳・については胸背部どちらかでも可）なお、男女1500mは、胸は別に渡す番号アスリートビブスを背面は団体名アスリートビブスを着用し、男子3000mについては、別に渡す胸・背部とも番号アスリートビブスを着用する。短距離のトラック種目については腰ナンバー標識を配付するので、スタートまでに右腰に張り付ける。
- 10 走高跳やリレー競技で使用するポイントマーク用のテープは各団体で準備しておく。競技が終わった選手は、自分のマーク、またはチームが貼ったマークを取り除く。
- 11 **練習（アップ）は2日間、補助競技場を使うことができません。**

○朝 7:30～8:30までトラックを使用することができます。

1～2レーン＝中長距離用周回レーン

3～6レーン＝高速レーン（バックストレート7、8レーン使用可能）

7～8レーン＝ハードル練習レーン5台ずつ設置（7レーン：100H 設置、8レーン：110H 設置）

○2 日目はリレー終了後～16:10までトラックのバックストレート（100m）を使用することができます。

使用する場合には以下のことを必ず守って使用してください。

1～5レーン＝スタブロ使用レーン

6～8レーン＝流し・ダッシュ使用レーン

※競技場の出入りは100mゴール側の入り口を利用してください。

※芝生内には入らないでください。

※jog やドリル、体操ストレッチなどは競技場の外ですませてください。基本、流しやスパイクを履く動きのみ競技場の中で練習していいものとします。

※事故防止のため、逆走は禁止とします。

※棒高跳の競技があるので、邪魔にならないように練習してください。

- 12 トラック内及びフィールド内には、出場選手・役員並びに生徒役員以外は絶対に立ち入らない。所定の場所で応援し、大会運営に支障をきたすことのないよう注意する。
- 13 団体受付は、競技場正面入口ロビー付近で行うので、必ず当該学校の教員または所属団体の指導者が受けること。両日とも、朝の審判ならびに競技運営に関わる打ち合わせ会を競技役員室で8:20より行う。（競技審判、参加校ならびに参加団体の代表等は必ず参加のこと）

14 招集について

- ① 招集は第4コーナー入口の招集場で行う。ユニフォーム・団体ビブス・スパイクなどを持参し競技ができる準備をして受ける。
 - ② 招集所では、プログラムに記載されている招集開始時間から点呼を始める。
 - ③ 点呼を受けた選手は係の誘導で競技場内に入る。
 - ④ 招集を受けていない選手、完了時刻に遅れた選手は出場できない。また、二種目を兼ねて出場する選手で招集時刻等が重なる場合は、「多種目同時出場届」を招集場に提出すること。(届け出用紙は、当日、受付に準備をする。)
 - ⑤ リレーオーダー用紙を受付でもらい、招集場に提出すること。出場チームは運営上、**女子の1～4組までは8:20までに、5～9組までは8:40までに、男子は9:00までにリレーオーダー用紙を招集場に提出すること。**
- 15 ゴミは各自・各学校において、責任持って持ち帰りをお願いします。また、飲料水は事前に準備し、自動販売機などは利用しないようにご指導下さい。
- 16 貴重品は、紛失しないように各自・各学校で責任を持って管理すること。
- 17 出場選手の健康管理や食事及び行き帰りの交通安全などの指導についても徹底して下さい。

第4回県記録会兼第56回織田幹雄記念国際陸上競技大会について(連絡事項)

(1) 第56回織田幹雄記念国際陸上競技大会中学生種目の予選種目と選出人数(チーム数)

<男子>

男子3000m(上位28名) → 当日は1組(28名)で競技

男子400mR(上位24チーム) → 当日は3組(8チーム×3組)で競技

<女子>

女子1500m(上位30名) → 当日は2組(15名×2組)で競技

女子400mR(上位24チーム) → 当日は3組(8チーム×3組)で競技

※当日は、各競技終了後、記録の整理・確認ができ次第、織田陸上への出場権を得た選手ならびにチームを放送・掲示にてお知らせしますので、出場権を得られた学校は、選手の参加・不参加を確認されて、大会総務の部屋に推薦書等の参加申込み書類を必ず受け取り に来てください。

※織田陸上への参加出場権を得られた選手やチームで、どうしても大会当日に参加できないことが分かっている場合は、当日、すぐに総務にお伝えください。また後日、参加が困難になった場合も、「中学生種目担当者」にご連絡ください。場合によっては、繰り上げを行うことがありますので、ご協力願います。

(2) 参加資格の要点と参加に関わる確認とお願い

- ① 広島県内に在住する中学1～2年生(来年度2～3年生)
- ② リレー種目においては、同一校の生徒でメンバーが構成されること。
- ③ 生徒の引率・学校受付は、原則、当該校の教職員または、所属団体の指導者であること。
ただし、陸上競技部のない学校の特例引率などで、参加している学校の生徒の場合などは、保護者の引率も可能。